

森林山村に眠る豊かな自然生態系の活用

山門水源の森獣害防止対策事業

課題

山門水源の森はびわ湖源流部にあたる長浜市西浅井町山門に位置する。ここは平成8年3月に滋賀県が購入した約63haの県有地であるが、山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会の継続的な活動により、現在では年間約5,000人の自然愛好家やハイカー等を受け入れ、着実に県民や琵琶湖下流地域の方々に親しまれる場所になっている。

湿原をはじめ周辺の森林には多様で希少性の高い動植物が生育しており、次世代にのこしていくべき自然豊かな地域であるが、近年シカ等の獣被害が深刻であるため、早急に対策を講じていく必要性に迫られている。

事業目的と内容

豊かな山門水源の森の自然生態系を次の世代に引き継ぐために、以下の活動に取り組む。

- ・ 獣害防止柵等、保全のための資材を運搬する道路の開設
- ・ 獣害防止柵の設置
- ・ 丸太階段の設置
- ・ 管理が不十分なアカガシ林の整備



山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会

・山門水源の森が こうならないために

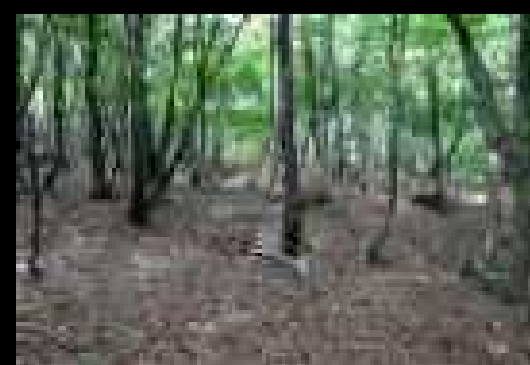
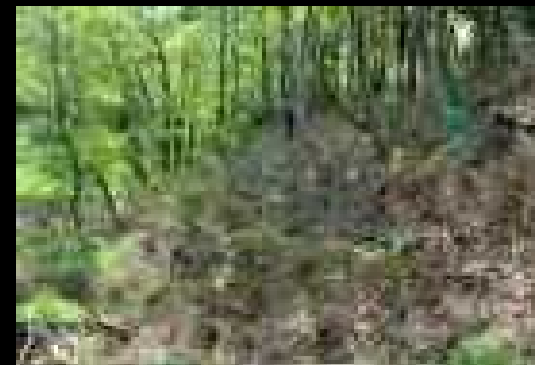
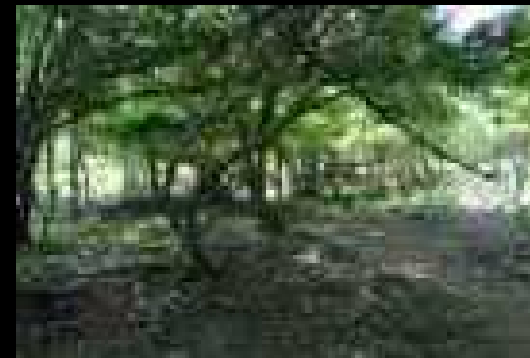
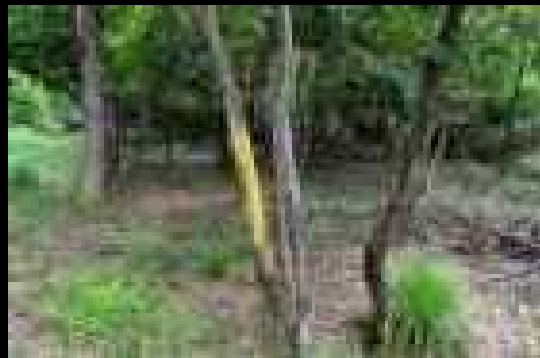
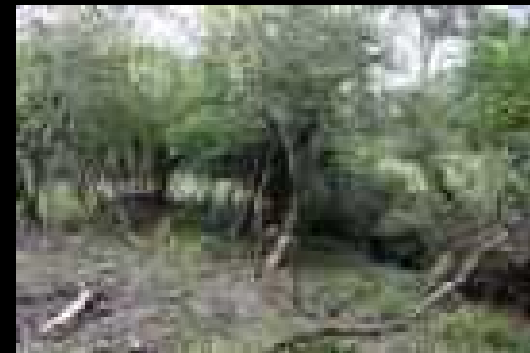
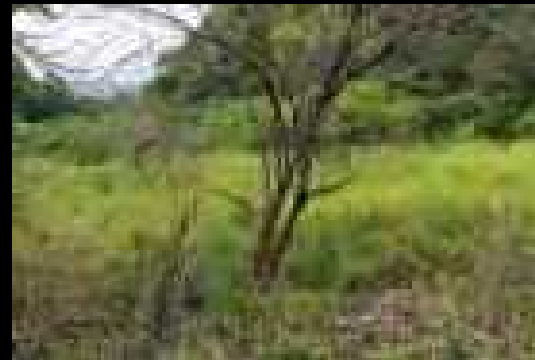
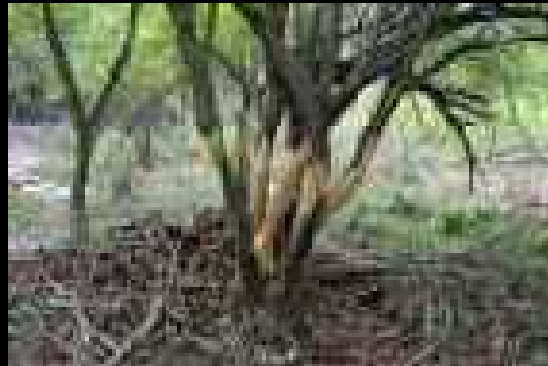






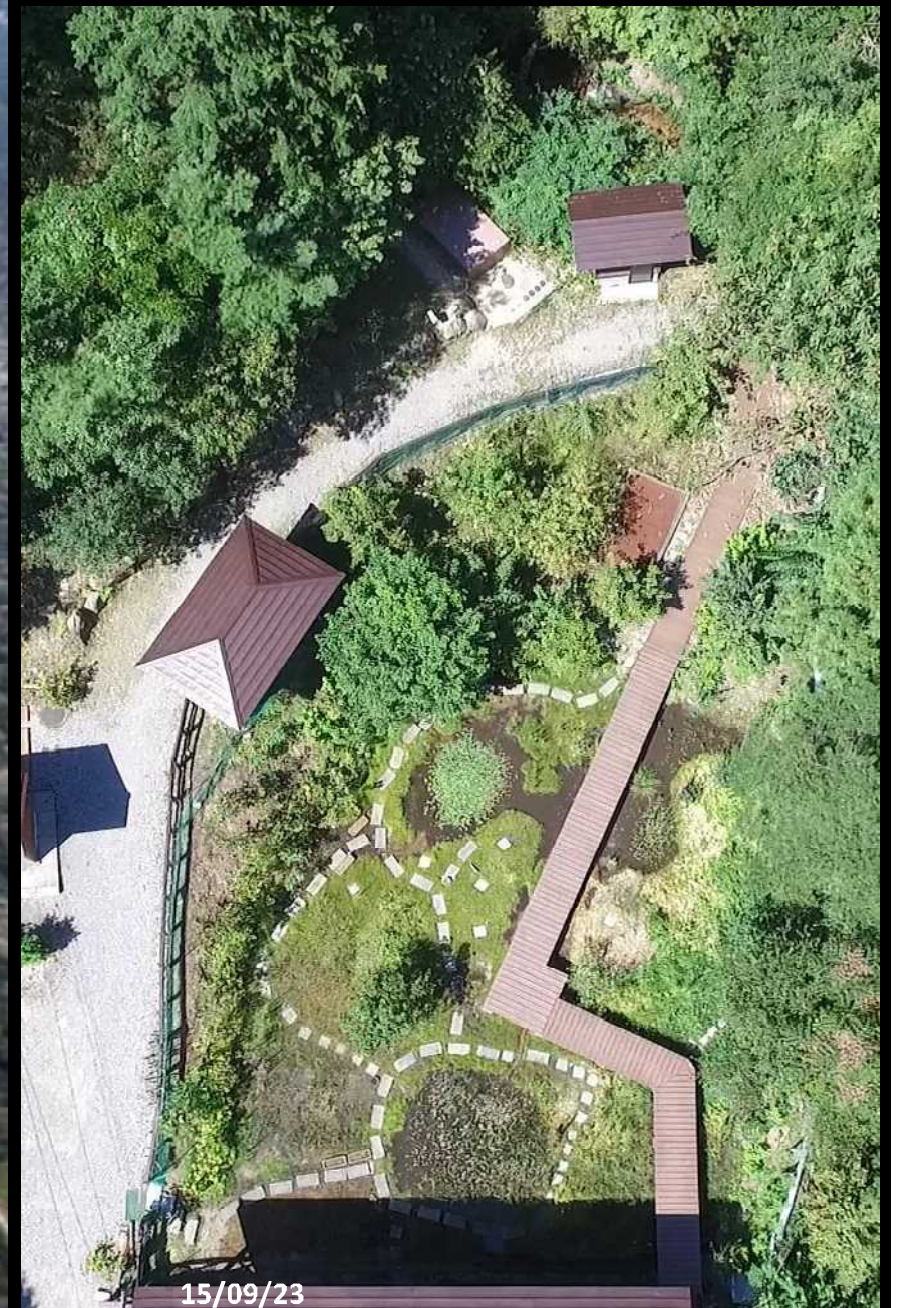
竜ヶ岳のシカ（16/07/21）富岡明撮影

山門水源の森の食害(2016)





・ 獣害防止柵の設置





湿原には獣害ネット・波板設置

(17/08/01)





ブナ林の防獣ネット設置 (16/07/28)